

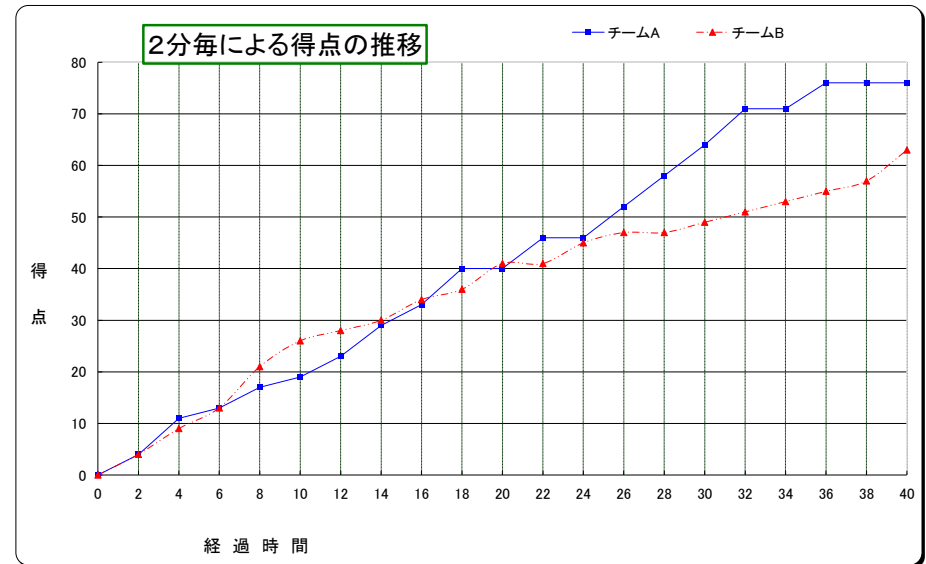
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)
本庄シルクドーム
Bブロック1回戦

チームA	76	{	19	1st	26	}	63	21	2nd	15
県立宇都宮工業 (栃木)			24	3rd	8			12	4th	14

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	渡辺 翔太	29	3	16	10	15	0	0	1	2	6	3	1	0	1
5	深田 匠満	13	0	0	6	12	1	1	5	3	11	3	1	3	1
6	安納 駿	8	0	0	4	15	0	0	2	2	0	3	4	1	2
7	藤井 時生	13	1	2	5	12	0	0	3	3	4	4	2	2	5
8	三河 寛太	0													
9	田代 航	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
10	打田 大騎	0													
11	小野恭士朗	0													
12	三原 広大	0													
13	伊藤 学	0													
14	宇梶 温哉	0													
15	春山 歩夢	0													
16	山口 湧史	0													
17	小島 優生	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	相馬 俊介	13	0	0	5	12	3	4	2	8	3	1	1	0	2
コーチ	千村 隆														
		76	4	19	30	66	4	5	13	19	25	14	10	6	12
		確率	21.1%		45.5%		80.0%			計	44				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	若月 航	8	0	0	3	8	2	3	0	2	5	0	0	0	2
5	本橋昂多郎	13	0	3	6	16	1	2	1	5	8	2	2	0	4
6	荒木 郁哉	10	0	1	5	10	0	0	0	2	2	1	4	0	5
7	福島 颯斗	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8	若林 行宗	9	3	6	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0
9	渡邊 祐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	山口 佳也	3	1	4	0	6	0	0	0	0	3	4	2	0	2
11	成田 琉晟	2	0	0	1	3	0	2	1	1	1	0	1	0	2
12	加藤 伸明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	境 ソラージ	16	0	0	7	13	2	2	1	5	4	2	0	0	2
14	岩本 稔弥	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15	牟田口俊輔	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
16	尼崎 皇我	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	志賀 健翔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	柴崎 恒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	古川 貴凡														
		63	4	15	23	60	5	9	5	16	25	10	11	0	18
		確率	26.7%		38.3%		55.6%			計	41				



戦評

第1P 両チーム共にハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。高さで勝る日大豊山は#4#5の高さを活かし、リバウンドシュートで得点する。宇都宮工業は#7のドライブイン、#5の速攻で得点を返す。お互い1対1を中心に攻め、日大豊山は#5の1対1、宇都宮工業は#18#7が1対1でのドライブインをする。宇都宮工業#4が連続して個人技で得点するが、日大豊山は途中から出場した#8が2本連続して3pを決め、点差を広げる。宇都宮工業も#5がローポストの1対1で返すが、日大豊山の#8ブザービート3pが決まり、26対19日大豊山リードで終了。

第2P リードする日大豊山は#4#5の高さを活かし1対1や2対2でオフェンスを組み立てる。宇都宮工業は#5がゴール下で合わせ、連続得点して点差を詰めたところで日大豊山が前半1回目のタイムアウト。宇都宮工業は#4の1対1が冴え、ドライブイン、速攻と連続して得点して点差を詰める。日大豊山も#13が連続して得点するも宇都宮工業#4が速攻を決めついに逆転する。その後も#4の個人技で得点し、残り2分でオールコートゾーンプレスでプレッシャーをかける。宇都宮工業は#5がリバウンド、ブロックショットとゴール下を一人で支えるが、ファウルが前半で3つとなってしまふ。日大豊山はビックマン#13がゴール下で踏ん張り、リバウンドシュートを沈めて再逆転し、41-40日大豊山リードで前半終了。

第3P 日大豊山は3-2ゾーンにディフェンスを変え、宇都宮工業も2-2-1ゾーンプレスからの3-2ゾーンに変える。宇都宮工業は#5が攻守にわたりファイトしゴール下で得点するが、開始早々に4つ目のファウルをしてしまふ。日大豊山は#13のリバウンドシュートで得点するも、後が続かない。宇都宮工業は#5が4ファウルにもかかわらず縮こまらずにファイトを続け、激しいディフェンスから速攻でバスケットカウントを決めるなど、チームに勢いをつける。#4のドライブインやアシストに#18がゴール下で合わせ、点差を広げる。#6のジャンプシュートや速攻が飛び出し、このピリオドだけで24対8となり、宇都宮工業が15点差とする。64対49宇都宮工業リードで終了。

第4P 日大豊山は#6の速攻で追い上げようとするも、宇都宮工業#7に3pを決められ、#5のゴール下、#7の速攻で20点差とされ、後半2回目のタイムアウトを取る。日大豊山#6の速攻や#13のゴール下で追い上げ始めたところで宇都宮工業が後半1回目のタイムアウト。ここで残り5分、攻守にわたり宇都宮工業を支えてきた#5がファウルアウトしてしまふ。チャンスの日大豊山は3-2ゾーンを広めにプレッシャーをかけ、#13#5の高さを活かしてゴール下で得点し、追撃する。宇都宮工業はタイムアウトを有効活用して逃げ切りを図り、76対63で日大豊山の追い上げを拒み、勝利した。

記録者: 伊澤 暁

主審 長谷川 隆司 副審 中西 功